

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



些細な情報も見逃しません！



臨床検査科

【特集】

院内医学会表彰

- VOICE
- 医学シリーズ 腎臓内科
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

院内医学会表彰

絞扼性腸閉塞による腸管壊死の術前予測因子の検討

当院では多くの緊急手術を要する症例（絞扼性腸閉塞など）を受け入れています。絞扼性腸閉塞症例において腸管壊死に陥る前に手術を行うことは臨床的に有意義です。今回、絞扼性腸閉塞における腸管切除の予測因子を明らかにすべく2018年1月～2020年7月の間、当科で絞扼性腸閉塞に対して手術を行った76例を対象として、対象症例を腸管切除群と腸管非切除群に分類し比較検討しました。

外科医師

かねみつ こうすけ
金光 紘介



急性硬膜下血腫に対する穿頭血腫ドレナージ術の有用性

本研究は当院での過去10年間の急性硬膜下血腫に対する穿頭術と従来の基本である開頭術を比較したものです。65歳以上で脳の圧排所見の強くない症例には穿頭術が安全に施行できる可能性が示唆されました。

脳神経外科医師

みやざき あいり
宮崎 愛里



急性心不全をきたした自己免疫性溶血性貧血の一例

自己免疫性溶血性貧血（温式AIHA）に急性心不全を合併した症例を報告しました。温式AIHAに対するステロイド剤投与と心不全に対するNPPV管理、利尿剤投与および輸血療法で状態は速やかに改善しました。複合病態に同時進行で対応することの重要性を理解できた症例でした。

研修医1年次

さかた そういちろう
坂田 宗一郎



中期キャリアにある中堅看護師のキャリア発達に対する認識

中期キャリアにある中堅看護師（フルタイム勤務者）は、看護師という仕事に対する自己効力感を高く持ち、自分を成長させたい想いを抱いていました。しかし、キャリアについては漠然とした想いしかなく、看護管理者が意図してキャリアを考えさせていないことに気づかされました。対話を通して学習意欲を高め、中堅看護師を支援していきたいと強く思います。

教育研修係長

さかきばら ちはる
榎原 ちはる



ジグソー法を取り入れた授業における学生の学びと今後の課題

「ジグソー法を取り入れた授業における学生の学びと今後の課題」というテーマで研究を行いました。学生は他者へ説明を行うことで学びが深まることを実感し、私自身も協同学習に向けた示唆を得ることが出来ました。

看護学校教員

ひがしたるみず ともこ
東垂水 朋子



給与支給業務効率化による長時間労働是正に向けた取り組み

給与計算業務にかなりの時間を要していた為、業務効率化に向けた取り組みを行いました。その結果、作業日数を短縮することができ、超勤時間の削減に成功しました。今後も創意工夫、適正な給与支給に努めます。

事務部管理課

くぼた まりえ
窪田 真莉絵



MRCP 検査における呼吸センサーの最適配置位置の検討

「MRCP 検査における呼吸センサーの最適配置位置の検討」と題し、BMI および呼吸センサーの配置位置の違いによる呼吸波形の安定性を比較し、高精細なMRCP画像取得を目的とした検討を行いました。

診療放射線科

にし しょうご
西 祥吾





VOICE

登録医の声



医療法人湘悠会
むらかみ眼科クリニック

むらかみ しげき
院長 村上 茂樹



◆ 貴院のアピールをお願いします

お蔭様で当院も25周年を迎え、トータルな当科の治療として、手術面でも「^{ごくしょう}極小切開法」(MICS法)による白内障手術に併せ、緑内障や硝子体との同時手術ならびに眼瞼下垂症や眼瞼腫瘍の手術と共に緑内障の選択的レーザー線維柱帯形成術(SLT)や眼底疾患に対するマルチカラスキャンレーザー治療も実施致しております。また、眼科専門医と共に東洋医学会漢方専門医と抗加齢医学会専門医として、栄養・漢方治療や温熱・水素ガス療法による眼科の統合医療にも努めています。患者さまのための一部予約制や送迎サービスも実施していますので、お気軽にご相談下さい。

◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

学生時は陸上の長距離で、恩師・澤木啓祐教授に師事して毎月500キロ以上を走破し、医学生で初めて「箱根駅伝」合宿にも参加を許され、チームも箱根連覇しました。現在もパラリンピック等のマラソン代表を選出する日本ブラインドマラソン協会の医事委員を拝命し、自身も毎朝夜のジョグと体幹トレに心地良い汗を流しています。休日は、母校の客員教授としての講演や論文執筆、また、中高年の眼病についての4冊目の解説著書をホテルのビジネスラウンジで執筆して心地良い集中した充実感を楽しみ、夏は九重・長者原の広い湿原や上天草・松島で故郷・萩に似た海の風景を眺めながら走っています。



◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院での手術前などにご加療頂いている各科の先生方より、非常に丁寧で有用なご教示を頂き、深謝致します。また、多重の全身疾患や精神疾患の患者さまの眼科手術は眼科(榮木部長先生)にご紹介申し上げ、各科の先生方と連携させて頂きながらご加療頂き、感謝致しております。また、当科と関連深い糖尿病・内分泌内科(西川部長先生)や眼瞼形成手術などで形成外科(大島部長先生)、難治の顔面アトピー等で皮膚科(牧野部長先生)等でも高度の専門的なご加療を頂き、厚く御礼申し上げます。

いつか病診連携会で先生方とまたお会い出来る日を楽しみに致しております。

【診療科目】

眼科

【診療受付時間】

月・木・金 午前 8:00～11:30 午後 1:30～4:30
火・水 午前 8:00～11:00
午後 白内障・緑内障・眼瞼下垂手術
土 午前 8:00～12:00

【休診日】

日曜・祝日

【住所】

〒869-0421 宇土市南段原町 11-6
(肥後銀行宇土支店向かい・宇土市運動公園入口)

【TEL】

0964-22-6600

【FAX】

0964-22-6931

【ホームページ】

<https://www.murakami-ganka.com/>



最近のトピックス

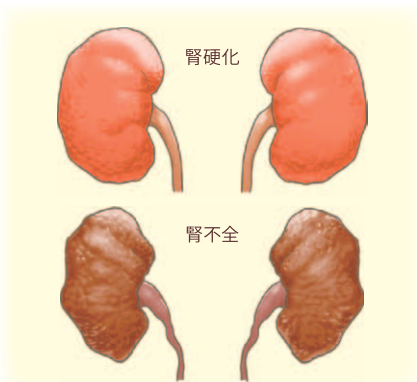
慢性糸球体腎炎について

国立病院機構熊本医療センター
腎臓内科医師

なかむら ともふみ
中村 朋文



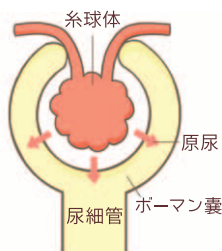
俳優の梅宮辰夫さんが腎不全で亡くなられて、記憶に新しく、腎不全って何だろうと思われた方も多いと思います。また実際に、腎不全ってどういう症状?と聞かれることが増えたように感じます。今回は、腎不全を引き起こす疾患の中で慢性糸球体腎炎について説明します。



腎不全の原因は、①腎臓自体に病気が発生する原発性と②腎臓以外で発生した病気が原因で腎臓が障害を受ける二次性に分けられます。これら病気により腎不全が発症し、進展すると血液透析などの腎代替療法が必要な末期腎不全の状態となります。2017年の統計では、血液透析導入の原因として、頻度の多いものから順に、①糖尿病(39.0%)、②慢性糸球体腎炎(27.8%)、③腎硬化症(10.3%)となっています。①糖尿病、③腎硬化症については、糖尿病や高血圧など他の疾患が原因で腎臓に障害が発生する二次性腎不全です。一方、②慢性糸球体腎炎は、腎臓自体に病気が発生する原発性腎不全です。

具体的に慢性糸球体腎炎とはどういった病気でしょうか。腎臓の中には血液をろ過して尿を作る糸球体という構造がありますが、慢性糸球体腎炎では、この糸球体に慢性的な炎症が生じます。その結果、血尿・蛋白尿を認める病気の総称で、特にIgA腎症がそのほとんどを占めるためIgA腎症について説明します。

IgA(免疫グロブリンA)とは本



来ならば体を守る免疫物質ですが、感冒や扁桃腺炎をきっかけに異常IgAが出現することがあり、これが腎臓に沈着して炎症を起こすことで、血尿や蛋白尿が出現します。ほとんどの場合、症状はなく、検診の検尿異常で発見されることが多いです。検尿異常には血尿、蛋白尿がありますが、検査でわからないような血尿が主体です(顕微鏡的血尿といいます)。また扁桃腺炎などに罹ったあとに、眼で見てわかるような血尿が出現して見つかることもあります(肉眼的血尿といいます)。

診断は、腎生検といって腎臓に針を刺して顕微鏡で調べる検査で確定診断を行います。治療は、扁桃摘出術とステロイドパルス療法になります(扁桃摘出術とステロイドパルス療法)。治療の詳細は省略しますが、血尿が持続しているような場合には良い適応です。IgA腎症は、昔は予後の良い病気と考えられていましたが、1990年代になり、発症後20年で40%前後の患者さまが腎不全に至ることが報告され、決して予後の良い病気ではないことがわかってきました。

IgA腎症では肉眼的血尿を認めない場合は、まったく症状はありません。しかしながら、腎臓に炎症は確実に存在しており、長い年月をかけて徐々に腎臓にダメージを蓄積していきます。腎臓は非常に忍耐強い臓器なので、腎不全による症状(全身倦怠感、食不振、むくみなど多彩な症状があります)が出現するころには、腎代替療法が必要な一歩手前の状態です。この場合、すでに手遅れの状態であることがほとんどです。

風邪や胃腸炎のように強い症状がなければ医療機関は受診したくないものです。学校検診や職場検診などで検尿異常を指摘されても、痛みやきつさなどの症状がなければ医療機関の受診には消極的になると思いますが、IgA腎症が隠れている場合には、腎臓へのダメージは必ず存在しているので、しっかりと検査して治療することが大切です。当院では、腎生検による診断から、扁桃摘出術まで行っておりますので、検尿異常を指摘された方は是非受診されてください。

【診療科案内：腎臓内科】

当院の腎臓内科は、日本腎臓学会研修施設、日本透析医学会の認定施設です。当科では、高血圧、腎炎、腎不全、電解質異常など様々な領域に対応しています。また当院は三次医療機関として重症患者さまを受け入れている救急病院でもあり、合併症を発症された透析患者さまをはじめ、重症な腎臓疾患の患者さまを受け入れ、治療にあっています。検査に関しては、エコー、CT、ガリウムシンチなどの画像検査はもちろんのこと腎生検にも対応しています。治療に関しては緊急の血液浄化から、腎炎・ネフローゼに対して行う免疫抑制療法など幅広い治療にも対応しています。特に生物学的製剤といった新たな機序の薬剤の使用経験も豊富です。

新型コロナウイルス感染症診療に二つの強い味方

副院長
はしもの のぶろう
橋本 伸朗



2019年12月に新型コロナウイルス感染症が報告されWHOが2020年1月30日に公衆衛生上の緊急事態宣言を出して早くも一年が経過しました。現在(2月9日時点)日本では第3波収束の兆しが見えてきましたが、人工呼吸器を必要とする重症患者さまは一定数おられ、まだまだ予断を許さない状況です。当院でもICUに重症患者さまを受け入れています。ビニールカーテンでゾーニングされたエリアでスタッフが懸命に診療を行っています。スタッフは感染防護服に手袋、ゴーグル、N95マスクを装着しますが、この状態で診療をおこなっていると空調が効いていても汗だくとなり、とくにN95マスクは閉塞感があり想像を絶する疲労があります。

そのような環境を少しでも改善する目的で「一体型小型電動ファン付き呼吸器防護具(HALO)」を1月末から導入しました。これはHEPAフィルターで浄化された新鮮な空気を、呼吸にシンクロしてファンが稼働してマスク内に送ってくれるものです。マスク内は常に陽圧に保たれます。マスクはラテックスフリーのシリコン製で再利用できます。「息苦しさがない」「涼しく感じる」とスタッフからの評判もいようです。実は、ダイヤモンド・プリンセス号で発生した感染者の診療支援に当院から出動された水上智之感染防御室長・小野宏感染症内科部長の御経験からアドバイスをいただき、昨年度末から購入を予定していましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の広がりの影響で入手困難となっていたところ、樋口企画課長・菊池業務班長・吉本契約係長をはじめ事務部の御尽力で導入に漕ぎつけました。

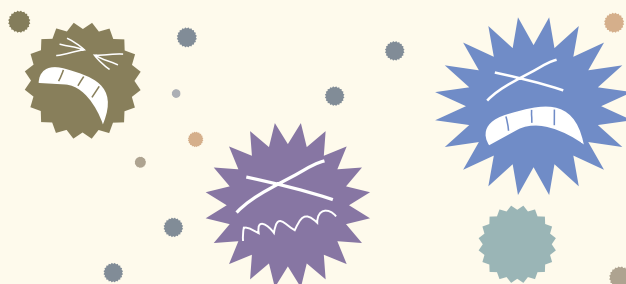
もう一つ同じ日に届いたのが「UV-C紫外線照射システム(UVDI-360)」です。これは直立する4本の紫外線照射ランプから、ウイルスや細菌(芽胞を含めた耐性菌など)を殺菌するUV-Cを照射するものです。対象距離半径2.5mの範囲で、5分間照射することで99.99%の減少率を達成しています。汚染された室内の壁・医療機器・検査機器などを短時間で除菌してくれます。照射光を見たり浴びたりすると有害ですので安全運転用人感センサーとリモコンも備えています。病室はもちろん、さまざまな検査室・手術室などにおいて活躍してくれるはずです。この装置も昨年度末に購入予定でしたが瞬く間に品薄となったところ事務部の御尽力で導入することができました。



UV-C 紫外線照射システム



一体型小型電動ファン付き呼吸器防護具(HALO)



研修医レポート

臨床研修医

右田 敏起
みぎた としき



こんにちは。研修医1年目の右田敏起と申します。長崎大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修医をさせていただいています。研修医生活を始めてもう少しで1年が経とうとしており、足をひっぱることも多い中、先生方やスタッフの皆様のおかげで充実した研修をさせていただいております。

私は腎臓内科から研修をスタートしました。カルテの書き方どころか使い方も分からず、ましてや診察や手技など分かるはずもないまま研修が始まりましたが、指導医を始め、とても優しい先生方に手取り足取り教えていただいて、大変

ながらも充実した研修の日々を送らせていただきました。CV穿刺やPTA、シャント作製術など多くの手技や、腎疾患の食事や体液の管理の仕方などを学ばせていただきました。他にも、救急外来の当直業務では、3次救急病院らしい、緊急疾患を数多く経験することが出来ました。4月のころに比べると的外れな考察も、自分の中ではだいぶ少なくなったのではないだろうかと、成長を感じています。

こうして、大きな問題が起きることなく研修生活が送れるのも、各所でお世話になる先生方、コメディカルスタッフの温かい見守りあってのことであり、大変感謝しております。残りの研修期間も全力で取り組み、最低限皆様にご迷惑をおかけしないよう、できればお力になれるように努力していく所存です。

これから様々な科で研修をしていく中で、多くのご迷惑をおかけするとは思いますが、一つ一つ物事を身につけて、お役に立てるよう精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

歯科臨床研修医

衛藤 理
えとう みち



こんにちは。歯科研修医の衛藤理と申します。九州大学を卒業し、4月より熊本医療センターにて研修をさせていただいています。ようやく熊本での生活に慣れてきたところですが、早いもので研修期間も残りわずかとなりました。

歯科口腔外科では一般歯科治療だけでなく、埋伏智歯抜歯、外傷、周術期管理、嚥下評価など様々な症例を経験させて頂いています。特に外傷の症例は学生時代に主に勉強していた一般歯科とは全く異なるため、毎症例それぞれに学ぶことが多いです。口唇の縫合から緊急手術が必要なものまで幅広く、非常に勉強になっています。また、開業歯科では経

験できない全身疾患を併発した症例等の、病院歯科ならではの症例にも恵まれ、とても充実した研修医生活を送っています。さらに、コロナ禍で学会の開催が少ないなかでも、11月には学会での発表も経験させていただきました。準備を通して論文の調べ方や、スライドの作り方、発表の手順等も丁寧に教えていただき非常に有意義な経験をさせていただきました。研修が始まった当初は右も左も分からない状態でスタートしましたが、毎月目標を立て、4月は器具の準備や介助の仕方、5月は保険の仕組みや縫合、6月は残根抜歯、と少しずつではありますが、できることが増えてきたように思います。

まだまだ知識や技術が未熟な部分や不十分な部分が多く、部長の中島健先生をはじめ、上級医の先生方や、歯科衛生士の方々、看護師の方々などに助けていただくことばかりです。これからも残り少ない研修医生活を1日1日大切にしながら多くのことを吸収し、精進して参りたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2021年3月研修のご案内

研修ホール

3月4日・11日・18日・25日（木曜）
8：15～8：45

二の丸モーニングセミナー

※詳細につきましてはホームページ
(<https://kumamoto.hosp.go.jp>)を
ご参照ください

研修ホール

3月17日（水曜）
17：30～18：30

第127回 国立病院機構熊本医療センター クリティカルパス研究会

研修室1

3月23日（火曜）
19：00～21：00

小児科火曜会

=Web配信あり=

3月開催予定の「診断と治療」「月曜会」「救急症例検討会」は
中止となりました。

最新の情報は当院ホームページ等でご確認をお願いいたします。

研修へのお問い合わせはこちら
国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
QRコード▶



放射線治療（外照射）の制限についてのお知らせ

令和3年4月19日より外照射放射線治療装置（リニアック）の撤去・更新作業が始まる予定です。
そのため2月下旬から放射線治療患者さまの制限をせざるを得なく、4月19日以降は全ての外照射がス
トップいたします。放射線治療患者さまをご紹介いただいている連携各施設には多大なるご迷惑をおかけす
ることになります。申し訳ございません。ご協力の程宜しくお願いいたします。

10月初旬からTrue Beamという最高峰のリニアックでの稼働を予定しております。これまで以上の精度
管理を行い、安心安全かつ高精度の放射線治療を目指します。

今後とも患者さまのご紹介ならびにご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

令和3年2月

放射線治療科部長
とみたか えつし
富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

令和3年3月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金	
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃	
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診)	西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)	
	呼吸器センター	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	小野 宏 (午前紹介/院内コンサルト)原 英記	名村 亮 原 英記(院内コンサルト)	小野 宏 原 英記(院内コンサルト)	
	感染症内科		小野 宏	小野 宏		小野 宏	
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑	中村 朋文	松永 英士	富田 正郎	
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟	
	内視鏡	午前	中田 志茂田 (東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東 (志茂田)
		午後	東 志茂田 馬見塚 (中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野 (松山)	中田 上野 馬見塚 (石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野 (志茂田)	杉 松山 志茂田		
心臓血管センター (循環器内科) (心臓血管外科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 木村(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週新患) 野津原 淳(隔週新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患)	
	手術日		岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大潮 一太	山下 建昭	
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡	
小児科	診察	水上 智之 吉田 敬伸	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 吉田 敬伸	
	免疫	水上 智之		水上 智之			
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美	
外科	小澄 敬祐 稲尾 瞳子	水元 孝郎 井上 光弘	坂本 悠樹	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生		
脳神経センター (脳神経外科) (脳神経内科)	手術日	大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里	
	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元		
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 拳博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦	
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 拳博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大	
泌尿器科	前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘刈 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔		
産婦人科	高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	西村 弘 山本 直		
感覚器センター (眼科)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂		
感覚器センター (耳鼻咽喉科)	手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗		
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一	
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一	
形成外科	(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹		
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士					
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子					
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 田中 健一 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)		
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆		
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文					
		中川 文雄		中川 文雄	中川 文雄		
救命救急センター	國友 耕太郎	原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、渋沢 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史			宮内 大介		
看護外来	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師		
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師		
移植後フォローアップ	専門看護師 他		専門看護師 他	専門看護師 他	専門看護師		
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師		

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。 R3/3/1